

( 図中の経歴 )

方今浪花の売出し市川市十郎は京都の出

生にて始金三郎といふ其後福太郎と改名し西国

筋にて長らく修行す何れにても

評判よく明治五年始て大阪

へ登り尾上多見蔵に属し

市川市十郎と改む此市十

郎といふ名は三代目なり初

代は小紅屋鰻十郎の前の

名にて多見蔵に因有名前なり

初代鰻十郎の娘多見蔵の妻となり其

子兄を和市といふ弟は初代鰻十郎の幼名をつが

せ市川市蔵とよべり此市川の景は音羽屋に有に

因て市川の名跡をゆづるなり二代目市十郎

は小紅屋鰻十郎の門人義助がつくゆへに当代

が三代目なり近頃追々評判よく人気日々

に増付し何役をなすと雖も当をとる名人といふ